

平成29年度
事業実績

豊岡市社会福祉協議会

目 次

使命1 自ら行動し地域を動かす社協	3
1. 地域とのつながりのある関係	3
2. 多様な住民ニーズを受け止めて対応する機能の整備と充実	6
3. 総合相談体制の構築	7
使命2 つながる・つなげる社協	10
1. 関係機関と連携した支援の展開	10
2. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへの体制づくり	11
使命3 信頼される社協	13
1. 社協の事業体組織としての機能強化及び運営強化	13
2. 人事管理制度の再構築	15
3. 安定した財源確保と健全な財政運営	15
豊岡市社会福祉協議会事業活動	
1. 地域福祉活動	17
2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習	31
3. 在宅福祉サービス	32
4. 法人運営	34
5. 介護保険・障害者サービス	38

全国的に人口減少・少子高齢化の進行、地域社会や家族のあり方が大きく変化する中で、国は2025年を目途に医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築」を打ち出しており、地域における新たな支え合いを住民等と専門職との連携・協働のもとで推進していくことが求められています。

本市においても、少子高齢化が急速に進行しており、核家族化の進展とともに、高齢者のひとり暮らしが大幅に増加しています。また、ライフスタイルの多様化の中で、近所付き合いを負担に感じる人が増えるなど、地域でのつながりが希薄になり、助け合いの力が低下している状況にあります。こうした中で、若者の不登校や引きこもりの増加、独居高齢者の孤独死、児童虐待などの発見の困難な問題が表面化してきました。

「豊岡市地域福祉計画（平成29年度～平成33年度）」では、「住民の主体的な地域づくり」と「総合的な相談・支援体制づくり」を軸に地域課題の解決に向けて、本会の役割として、住民の主体的な集いの場、話し合いの場、見守りの場づくりの支援、住民と専門職の協働等が位置づけられました。

平成29年度から「地域コミュニティ組織」が全地区で始動する中で、各地区、行政区においてコミュニティワーカー、生活支援コーディネーターを中心に地域住民のニーズ・生活課題の集約・分析、地域福祉活動者・グループと連携しながら地域の居場所づくり、話し合いの場づくり、見守り活動等の基盤づくりに取り組みました。

時代の変化とともに多様化する住民ニーズに対応し、住民のその人らしく豊かな地域生活を守りきるためには、その拠点機能が重要となる社会状況の中、平成29年度、日高地域に24時間、365日介護サービスが提供でき、住民の交流拠点、住民と専門職の協働による地域の課題解決に向けた話し合いの場としての機能を兼ね備えた「地域福祉・生活支援拠点ぐるらん」を建設し、平成30年1月から住民交流拠点機能をスタートさせ、カフェ、子どもの遊び場、畑づくり等を通じて地域の拠り所としての機能を発揮し始めています。

生きづらさを抱えた全ての住民のニーズ・生活課題を早期に発見し、解決に向けた早期対応につなげるために、各部署・事業所の地域におけるアウトリーチ、社会福祉法人等とのネットワーク化を進め「セーフティネットの最後の砦」としての機能確立に取り組みました。

基本理念

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

【使命1】

自ら行動し、地域を動かす社協

～住民のニーズをキャッチし、解決に向けて行動します～

介護保険制度の中で、現在の団塊世代が後期高齢者となる2025年を目途に、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築の実現」を進めていくことが位置づけられています。

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」を基本理念とする本会では、高齢者に限らず、子ども、子育て世代、障がい者、経済的困窮者、地域から孤立している人等、様々な生活に困りごとを抱えた住民がいつまでも住み慣れた地域で自分らしく豊かに暮らし続けることができる地域づくりをめざして、地区圏域及び行政区圏域を基盤とした支え合いの地域づくりの基盤整備を進めました。

支え合いの地域づくりの構築を重点的に支援するために、生活支援コーディネーターの配置基準を平成29年4月に従来の旧市町域から29の地区圏域に改善し、職員配置の均一化を行い、各地区への支援活動に濃淡が生じないように体制整備を行いました。

1. 地域とのつながりのある関係

(1) 地区圏域の生活支援体制の構築に向けた支援活動の展開

地区圏域の生活支援体制の構築に向けて、平成29年4月から本格的に始動した各地域コミュニティ組織の支援活動に重点的に取り組みました。

地域コミュニティ組織（各福祉部組織）に生活支援コーディネーターを中心に委員やアドバイザー等として参画し、地域の生活課題の集約、課題解決に向けた取組が行われる場となるよう、ワークショップ等でのファシリテート（発言の促し、論点整理等）を通じて地区単位の集いの場、地域の生活課題の話し合いの場の定着に向けた支援を行いました。

また、地域内の企業や事業所等との関係づくりを進め、住民活動と関係機関との連携による地域づくりに向けた働きかけを行いました。

【主な支援活動】

地区	支援活動
中筋	・見守り活動を推進するため見守りマップづくりを行いました。その結果を住民と情報共有や分析することで次の活動へつながるようなサポートを行い、見守り便利帳の作成や、救急医療情報キット普及啓発に繋がりました。
竹野南	・よつばカフェ、玄さん体操での過ごし方の工夫（レクリエーション等）のサポートを行いました。 ・介護保険サービスを利用されていない元気な高齢者のデイサービスである「ささえ愛通所サロンわいわい み・な・み」が豊岡市からスムーズに

	受託できるように一緒に検討するなどのサポートを行いました。
弘道	<ul style="list-style-type: none"> ・すまいるカフェでの過ごし方の工夫（レクリエーション等）のサポートを行いました。 ・各行政区で防災の意識を醸成するための取組を住民と一緒に検討し、防災学習会の開催につながりました。
合橋	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ組織福祉部会が、支援を必要とする独居高齢者等へ行うゴミ出し・草刈り・除雪等の生活支援活動が安定的に実施されるように、ニーズ受付等をサポートしました。
高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・食の拠点「いこいの杜」が安定的に運営できるように人が集まる工夫などを一緒に検討しました。 ・「いこいの杜ささえ愛通所サロンゆうゆうくらぶ」が豊岡市からスムーズに受託できるように一緒に検討するなどのサポートを行いました。

(2) 行政区圏域を基盤とした支え合いの地域づくりの基盤整備

さまざまな行政区で、コミュニティワーカー等が住民と支え合いマップづくり等を通じて支援を必要とする住民、見守りが必要な住民等、地域課題を確認・共有しながら誰もが気軽に集まる地域の「集いの場」、身近な地域の困りごとを話し合う住民の「話し合いの場」の拡充を進めるために、集いの場と話し合いの場の定義を定め、目標と達成状況の明確化を図りました。

①集いの場

集いの場については、ふれあい喫茶、いきいきサロン、玄さん元気教室等が身近な地域で住民が気軽に楽しく集まり、日頃の見守り活動にもつながる効果が住民に受け入れられ、各地域で広がりを見せています。

集いの場づくりの定義

- ・定期的に開催している（年に複数回）
- ・広く開かれている（誰にでも）
- ・目的が地域のためのものになっている
- ・行政区に把握されている
- ・いろいろな情報が集まる場になっている

平成29年度新規集いの場づくり目標達成状況（平成30年3月末現在）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
目標	8	3	4	4	4	5	28
達成	8	3	2	1	3	5	22

集いの場設置状況（平成30年3月末現在）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
①サロン	35	11	22	20	28	25	141
②ふれあい喫茶	32	1	0	20	2	0	55
③玄さん元気教室	33	1	17	32	20	19	122
①～③	73	12	29	51	34	29	228
実施行政区	123	31	42	70	51	42	359
設置率	59%	39%	69%	73%	67%	69%	64%

②話し合いの場

話し合いの場については、地域内の支援を必要とする住民の孤立を防ぐ見守り、支え合い活動を継続的に実施する行政区を対象に「支え合いの地域づくり活動助成」を今年度から全市的に実施し、区長会等で趣旨説明を行い、142の行政区から申請があり、実施計画に基づいて助成を行いました。

話し合いの場にはコミュニティワーカー等が随時参加し、話し合いの場が地域課題の早期発見、情報共有、専門職との連携、課題解決に向けた取組につなげる場となることを区長や住民に理解浸透を図り、話し合いの場づくりに前向きな情報をキャッチした際には、タイミングを逃さず働きかけたことで、新たな話し合いの場が立ち上げにつながっています。

話し合いの場にコミュニティワーカーや地域包括支援センターの職員が出向き、支え合いマップを活用して、地域の課題・住民の取組等を確認し、今後、住民と専門職がそれぞれ何に取り組んで行くのか検討を行うことで、住民に話し合いの場づくりの効果・必要性の気づきを促し定着化を図りました。

しかし、まだ多くの行政区で話し合いの場が未設置の状況です。今後、コミュニティワーカー等がしっかり地域に足を運び、地域の情報をしっかり収集して、地域課題を整理し、区長や住民と地域課題を共有し、解決に向けた話し合いの場づくりの立ち上げをサポートし、住民が主体となった地域づくりの拡充を推進していきます。

話し合いの場の定義

- ・気になる人について話し合う
- ・定期的（年に複数回）、なお且つ必要に応じて開催する
- ・情報を共有し、対応を考える

平成29年度新規話し合いの場づくり目標達成状況（平成30年3月末現在）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
目標	16	4	3	5	4	3	35
達成	15	5	3	3	8	2	36

話し合いの場設置状況（平成30年3月末現在）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
設置数	51 / 123	10 / 31	5 / 42	18 / 70	11 / 51	12 / 42	107 / 359
設置率	41 %	32 %	12 %	26 %	22 %	29 %	30 %

2. 多様な住民ニーズを受け止めて対応する機能の整備と充実

老々介護、経済的困窮、地域からの孤立などの生きづらさを抱えた住民は、制度やサービスだけでなく、当事者の地域生活を支える住民等のインフォーマルサポートを含めた幅広い社会資源とのネットワークづくりによる総合的な支援体制が必要です。

これまで、地域福祉担当職員は地域課題に重点が置かれ、介護サービス事業所は個別課題に重点が置かれていました。そのため、地域福祉担当職員と介護サービス職員による地域の生活課題の解決に向けた具体的な検討が十分に行えていませんでした。

各部署間の検討の場が十分に無いことで、ケアマネジャー、ヘルパー等が地域に出向いた際に得ている多くの地域情報・課題を結果的に漏らしていることがありました。

豊岡市地域福祉計画の中において、計画の大きな柱（基本目標）に「住民の主体的な地域づくり」と「総合的な相談・支援体制づくり」が位置づけられていることから、地域の様々な生活課題の解決には、この2つの柱が相互に連携することが明確化されています。

(1) 地域情報・ニーズ把握力の向上、組織内連携体制の強化

支所単位で、コミュニティワーカー、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、ケアマネジャー、ヘルパー等による支所ミーティングを定期的を実施し、各部署がそれぞれ担当の地域、利用者の課題だけに取り組むのではなく、地域課題、社会資源情報（居場所、ゴミだし等の生活支援）、見守り会議の内容を共有し、個別課題を地域課題として捉えて、課題解決に向けて目線を合わせ、役割分担、地域への働きかけにつなげるなど、各職員が住民から地域課題を収集する「アウトリーチ」をかける機能の強化に取り組みました。

豊岡市地域福祉計画に2つの基本目標「専門職による総合的な相談・支援体制づくり」、「住民の主体的な地域づくり」が位置づけられています。基本目標の確実な推進に向けて、地域圏域（旧市町圏域）で地域福祉と介護サービスの職員が一体的に検討し、地域の生活課題・ニーズのキャッチ、住民の集いの場・話し合いの場・生活支援の場づくり、住民だけでは解決が難しい困難ケースのサポートに向けて、各部署が取り組むことを位置づけた5カ年の行動計画を策定しました。

今後、行動計画の進捗状況を評価しながら、各圏域の地域課題のアウトリーチと組織内の情報共有・支援体制の強化を図り、2つの基本目標を推進します。

(2) 住民主体の地域福祉活動の推進を協議する場

地域福祉活動、地域づくりの着実な推進に向けて、地域コミュニティや行政区の地域福祉活動実践者を委員とする「地域福祉推進委員会」を支所単位で定期的実施し、行政区・地区圏域の住民のニーズ、地域課題の把握、課題解決に向けた必要な方法、取組等の協議を行いました。

特に、住民の集いの場、話し合いの場の設置・推進のあり方を重点項目として継続的に協議を続け、ふれあい喫茶運営上の課題の解決方法、地域コミュニティから行政区への働きかけなどについて共有し、協議した内容をそれぞれの活動の場で実践（フィードバック）につなげる場となっています。

3. 総合相談体制の構築

総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談支援センター、豊岡地域包括支援センターから成る総合相談センターを中心に、高齢者、障がい者、ひきこもり、経済的困窮等複合多問題を抱える世帯への支援は、市・社協の庁内連携体制を活かした早期対応、地域の社会資源開発など、相談者、関係機関、市、地域住民をつなぎながら支援の見立てを行い、解決までの一貫したマネジメントに取り組んでいます。

豊岡地域包括支援センター以外の城崎・竹野、日高、出石・但東の各地域包括支援センターは、以前は地区センター（現在「支所」）の所属でしたが、複合多問題のケース等が総合相談センターつながりにくく、地区センター内で抱え込んだ形になり、解決に向けてつなげるところが少なかったです。

平成29年4月に組織改編を行い、城崎・竹野、日高、出石・但東の各地域包括支援センターを総合相談センターの配置とし、どのような問題も解決に向けてつながる体制整備を行いました。

(1) 総合相談・生活支援センター

生活困窮者自立相談支援事業をもとにした総合相談窓口として、支援対象者を経済的困窮だけに限らず、生きづらさを抱え社会的に孤立されているケース、該当する制度・サービスがないような制度の狭間にあるケース、複合多問題ケースなど幅広く受け止め、市、関係機関、地域住民、企業等と連携し、課題解決に取り組みました。

また、個別ケースの支援を通じて、「一人」を支える地域づくりを旨とし、地域福祉課地域福祉係及び生活支援係、各支所の地域福祉担当職員と連携しながら活動を進めました。

① 複合多問題世帯への支援

支援が必要な人が複数住んでいる世帯に、それぞれに専門職が関わり、支援を進めていますが、一人一人の問題が絡み合い複雑化していて解決へ向かわないというケースに対

し、世帯を支援している各専門職と世帯全体の状況を共有した上で課題を整理し、支援目標を定め、世帯全体の支援をコーディネートしながら支援に取り組みました。

主な支援事例

世帯主は理解力が乏しく、仕事に就いているが十分な給与を得ることができません。妻は病気で働くことができず、年金や手当収入も合わせて家計を回していますが、家計管理ができず債務が増え、公共料金や税金の支払いもままなりません。両親の養育力が欠ける状況のなか、子どもは発達特性があり精神的にも不安定な状況です。加えて母親には介護が必要となっています。家計再建への支援を軸として関わりながら、それぞれの支援対象者（発達障害の子ども、要介護の母親）に関わる専門職の支援が上手く進むように、全体のコーディネートとバックアップ役を担い、世帯全体の課題解決に向けた支援を行いました。

② 地域住民・企業の協力による生活困窮者支援

緊急食料支援事業において、地域住民や企業へ生活困窮者支援の理解を図り、寄付いただいた食料品により、生活困窮世帯へ支援を行いました。また、冷蔵庫や洗濯機等の家電製品の購入ができず生活に支障をきたしている世帯へは、リサイクル業者から中古家電製品を提供していただき、支援を行いました。

③ 総合相談支援チーム会議の定期開催

市（健康福祉部各課、こども支援センター、消費生活センター、各振興局）と社協との連携による生活困窮者の早期発見・早期対応を目的とした「総合相談支援チーム会議」を定期開催し、支援困難事例の解決に向けて必要な支援や仕組みの検討に取り組みました。

（2）障害者基幹相談支援センター

障がい者の総合的、専門的な相談機関として様々な相談に応じ、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう本人、家族に寄り添い関係機関や地域住民と協働しながら支援を行いました。

① 豊岡市障害者自立支援協議会の運営

- ・地域の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、関係行政職員等が中心となり、地域課題の解決に向けた取組を行いました。
- ・地域の相談支援事業所より挙げた地域課題を運営会議にて協議し、3つの専門部会ごとに協議・研究を行い解決へ向けた取組を行いました。

専門部会	内 容
せいかつ部会	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケアが必要な方に喀痰吸引の研修会を実施し、その後のフォローアップ研修も行いました。実施に際しての広報や成果の報告としてリーフレットの作成を行いました。 ・住宅については、居住支援研修会を開催し不動産業者、行政、福祉関係者の横のつながりができました。 ・重度心身障害者（児）については医療機関との連携を考える勉強会

	を実施し、関係機関が現状の課題の共通認識を持ち、顔の見える関係づくりを進めました。
こども部会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもの保護者同士のつながりを深める場として「お話カフェ」を開催し、保護者同士のつながりを作りました。 ・障がい児の相談支援事業所や関係機関との連携を図るため子ども連絡会を開催し、関係機関のつながりを深めました。
しごと部会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用に取り組んでいる企業の取組を伝えるため企業にインタビューを行い、広報誌に掲載しました。

②地域の相談支援体制の強化の取組

- ・相談支援事業者へ困難事例について同行訪問や助言による支援を行いました。
- ・事例検討等を通じた相談支援事業者の人材育成を行いました。

③地域移行・地域定着の取組

- ・医療関係者、相談支援専門員、施設関係者等で構成される地域移行・地域定着推進協議会で普及啓発を行いました。

④障害者虐待防止センター業務

- ・早期発見と敏速な対応を行うため当事者、家族、事業所等からの通報や届出の受理（電話・ファックス・メール等24時間受付）を行いました。
- ・広報、普及啓発活動として関係機関・団体に研修を実施しました。
- ・再発防止の観点から虐待後の支援を当事者、家族に行いました。

(3) 地域包括支援センター

高齢者の総合相談機関として保健・医療、権利擁護、認知症、経済的困窮等さまざまな課題について相談に応じ、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるように制度・サービスの活用、地域住民や行政、サービス事業所、生活支援コーディネーター等と連携しながらさまざまな不安・困りごとを抱える高齢者の安定した在宅生活を支えました。

①多職種の協働・連携による自立支援

平成29年度から『自立支援型ケア会議』を実施し、利用者が抱える生活課題とその要因分析、支援について多職種（保健師や理学療法士、生活支援コーディネーター等）で検討することにより、介護支援専門員等が自立支援に向けた目標志向型のケアプランの作成と検討内容が次のケアプラン作成に活かせるよう支援を行いました。

②認知症の方を支える地域づくり支援

幅広い年代の方を対象に認知症サポーター養成講座や、地域住民と協働して一人歩き声かけ訓練を実施し、認知症の方への声かけ、関わり方等を理解していただくことで認知症の方がいつまでも豊かに暮らせる地域づくりに取り組みました。

【使命2】

つながる・つなげる社協

～新たなつながりをつくり、先駆的な取り組みに挑戦します～

1. 関係機関と連携した支援の展開

(1) 地域における公益的な取組に向けた総合支援ネットワークの構築

地域には多様な課題を抱えながら生活している住民が暮らしています。その支援には様々な関係機関が関わり、解決に向けて連携・協働していくことが求められています。社協は、「協議体組織」として様々な関係機関が連携・協働するテーブルづくりを中心的に進める役割を担っています。

平成29年4月の社会福祉法人改革では社会福祉法人に「地域における公益的な取組」が責務として義務付けられ、日常生活・社会生活に支援を必要とする住民を対象とした事業・取組が求められています。

しかし、制度の狭間にある課題は、単独法人だけで把握・対応することは難しいのが現状で、各法人から成るネットワークによって連携・協働することが解決には不可欠です。

本会は、豊岡市内の各社会福祉法人の協議の場をつくり、ネットワークによる制度の狭間の様々な課題をつなげる場、解決に向けた連携・協働体制づくりについて検討を行い、ネットワーク化に向けて各法人の賛同が概ね得られました。今後は、ネットワークの構築を図り、社会的に孤立している住民、複合多問題世帯等の早期発見・早期対応の仕組みづくりや、社会資源開発の検討を中心となって進めていきます。

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」にかかる意見交換会

開催日	内容
H29.11.29	○制度説明 テーマ 「社会福祉法人の地域公益活動と社会福祉法人連絡協議会」 講師 兵庫県社会福祉協議会 福祉事業部副部長 岡地 茂 氏 ○意見交換 「今おかれている状況と今後めざすべき姿について」
H30.1.25	○説明 ・「豊岡市地域福祉計画について」 豊岡市健康福祉部社会福祉課長 原田 政彦 氏 ・「総合相談センターの取り組みについて」 豊岡市社会福祉協議会地域福祉課 総合相談・生活支援センター係長 上崎 良純

	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波市社会福祉法人連絡協議会の取り組みについて 社会福祉法人山路福祉会 特別養護老人ホーム山路園 施設長 澤村 安由里 氏 ○意見交換 ・現在の地域貢献の取り組みについて ・これからの地域貢献のすすめ方について
H30.3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 ・豊岡市社会福祉法人連絡協議会の設立について ・設立趣意書及び規約について

2. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへの体制づくり

(1) 多様な住民ニーズに基づく新規事業の開発

①住民交流拠点づくり活動助成

制度の狭間にある生活課題・ニーズの解決に向けた新規事業の開発と、善意銀行を財源とした新規活用法について、平成28年度にひきこもり、障がい、子育て等の分野で先駆的に活動する住民、専門職が参画する「善意銀行プロジェクトチーム」を立ち上げて検討を行いました。プロジェクトチームでは、それぞれの活動の中で共通する課題、緊急に取り組む課題等を整理しながら、必要な取組について検討を重ね、誰もが気軽に寄れる交流の場となり、自由な活動ができ、困りごとを相談できる住民交流拠点づくりに取り組むことを打ち出しました。

29年度、空き家等を活用した毎日型の住民交流拠点づくりに取り組む住民グループ等を対象とした「住民交流拠点づくり活動助成事業」を新設し、空き店舗を活用した住民の交流、困りごとが相談できる場づくりに取り組む住民グループ1団体に30万円の助成を行いました。

②地域活動支援センター施設整備助成

障がいによって働くことが困難な方の日中の活動をサポートする地域活動支援センターでは、自己財源で車や備品を購入することが財政的に厳しいため、利用者の送迎に対応できず利用につなげられない方があり、事業の拡大が難しいという課題を持たれていました。

障がいのある方の社会参加の機会確保、新たな事業展開をサポートすることを目的に善意銀行を財源として、29年度に車両・備品の購入に絞った「地域活動支援センター施設整備助成事業」を新設し、2事業所から車両、1事業所から備品の購入助成の申請があり助成を行いました。

車両には一般公募の中から選ばれたラッピングデザインを施して、善意銀行を活用した助成事業であることをPRし、使い途について啓発を行いました。

助成内容	助成件数	助成金額
車両購入助成	2 件	1,920,000 円 (内訳：940,000 円、980,000 円)
備品購入助成	1 件	300,000 円
合計	3 件	2,220,000 円

(2) 「セーフティネットの最後の砦」としての機能を確立・強化を基軸にした各事業の評価・点検

社協は、把握した住民ニーズに基づいて、先駆性を発揮しながら事業の開発に取り組んできました。各事業については、それぞれ当時の社会的背景・ニーズに基づいて事業をスタートしましたが、事業開始後、社会的ニーズが少なくなったり、民間事業者等の他の実施主体が事業を展開し住民ニーズに対応できる状況になっても、事業の効果、継続の必要性について十分な評価・検証を行わずに例年同様の事業を実施する傾向がありました。

地域福祉事業の業務内容が多岐にわたることで、コミュニティワーカー等が米寿写真、福祉まつり等のイベント型事業等に多くの時間を取られ、地域の「集いの場づくり」、「話し合いの場づくり」に重点的にウエイトを置くことができていませんでした。

各事業の社会的ニーズ、効果、地域活動への移行等について検証し、事業の方向性について社会的ニーズが低い、或いは「セーフティネットの最後の砦」としての機能を持たない事業の廃止、地域活動への移行が見込める事業について、経営戦略部会を中心に検討し、平成30年度から一部事業の廃止（米寿写真、ひとり暮らし高齢者のつどい）、地域活動への移行（福祉まつり）を決定して事業のスリム化を図りました。これによって、コミュニティワーカー等が地域福祉活動に集中的に取り組む環境整備が進みました。

(3) 認知症を支える居場所づくりの拡充

認知症の方やその家族が医療や介護の専門職等、誰もが気軽に参加できる「認知症カフェ」の立ち上げ、運営のサポートを行い、認知症の方や家族が思いや悩みを共有し、意見交換、相談等を通じて安心して過ごせる地域の居場所づくりに取り組みました。

コミュニティセンターでの出張型カフェ開催時にはスタッフと住民とのコーディネートを行い、当事者の方たちがより身近な地域で気軽に参加できる居場所づくりの支援を行いました。

社協が運営をサポートする認知症カフェ

名称	開催日	場所
認知症カフェ ひまわり	毎月第1 月曜日	豊岡健康福祉センター
認知症カフェ ふれでい	毎月第2 水曜日	日高健康福祉センター
あおぞらカフェ	毎月第1 金曜日	小谷 愛の園 (但東地域)

【使命3】

信頼される社協

～地域福祉をしっかりと推進できる社協組織をめざします～

1. 社協の事業体組織としての機能強化及び運営強化

(1) 経営組織のガバナンスの強化

社協は地域福祉を推進する中核的な組織として、市民が抱えるニーズ・生活課題を解決するべく、新たなサービス等の開発を着実に取り組めるよう安定的な経営基盤と組織運営が求められています。

平成29年4月、改正社会福祉法が施行され社会福祉法人の経営組織としてのガバナンス強化が位置づけられ、これまで任意設置であった評議員会が議決機関として設置が義務付けられ、その機能として理事等役員の選任、役員報酬の決議等が義務付けられました。

評議員、理事、理事会等の権限・責任に係る規程の整備等も法改正で位置づけられたことから、定款において、それぞれの権限・職務内容を明確化し、ガバナンス機能の強化を図りました。

評議員会の定数・選任区分を改正し、選任区分に地域コミュニティ組織を加えるなど、地域住民が抱えるニーズ・生活課題の解決に向けた本会の取組についてしっかり議論がされる体制整備を行いました。

(2) マネジメント機能の強化

住民からのニーズを受け止め、活動に反映できる仕組みづくりと、社協活動への参加意識を醸成できるよう理事、市民等で構成される4つの部会・委員会を中心に経営基盤の強化、小地域福祉活動支援等の取組について点検、評価、新たな取組等について議論しました。

部会	役割	協議内容
経営戦略部会	将来予測に基づいた経営方針や、組織再編、雇用体系や給与制度等の見直し等の協議	○第1回 H29.5.23 ・平成28年度豊岡市社会福祉協議会事業報告並びに決算について ・第7期役員候補者について ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程について ○第2回 H29.7.11 ・既存事業の見直しについて 他 ○第3回 H29.8.22 ・職員採用計画について 他 ○第4回 H29.12.12 ・平成29年度第1次資金収支補正予算について ・「地域福祉・生活支援拠点ぐるらん」の事業計画・予算について ・障害者計画相談について

		<p>○第5回 H30.3.12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度組織体制について ・平成29年度第2次資金収支補正予算について ・平成30年度事業計画について ・平成30年度資金収支予算について
地域福祉部会	行政区、地区圏域における住民主体の支え合いの地域づくりの進捗状況の評価・検証	<p>○第1回 H29.7.3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の推進に向けて (居場所・見守り会議・生活支援について) <p>○第2回 H29.11.10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市地域福祉計画について ・平成29年度上半期地域福祉推進状況について <p>○第3回 H30.2.20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員活動の見直しについて ・いきいきサロン助成事業見直しについて
在宅福祉部会	利用者のニーズに合った新たな形態のサービスや事業の実施、既存事業の見直し等、安定した介護サービス事業の運営に向けた協議	<p>○第1回 H29.8.22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度介護サービス事業所の現状と取り組みについて ・今後の日高地域における在宅サービスの方向性について(地域福祉・生活支援拠点の取り組み) <p>○第2回 H29.12.11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者特定相談支援事業所の取り組みについて <p>○第3回 H30.3.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度在宅福祉課の取り組みについて
善意銀行運営委員会	預託金を配分先の見直しを含め、地域福祉活動推進のため適正な使い途について協議	<p>○第1回 H29.7.6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度善意銀行預託状況、活用内容について ・平成29年度地域活動支援センター施設整備助成について ・平成29年度住民交流拠点づくり活動助成事業について ・善意銀行の啓発について <p>○第2回 H30.2.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度地域活動支援センター施設整備助成について ・平成30年度善意銀行運営事業予算について

(3) 地域福祉推進体制の強化

地域福祉活動部門の強化を図るために、地区センターを地域福祉課支所に改編し、居場所づくり・見守り会議の推進を中心に目標・実行状況の共有・点検・指導を行い、地域によって地域福祉活動の推進のあり方に濃淡が生じない体制整備を行いました。

2. 人事管理制度の再構築

人事管理制度については、本会はこれまでキャリアパス、それとリンクさせた人材育成、勤務評価、賃金の仕組みがそれぞれ部分的に機能はしていましたが、全体としてうまくリンクせず、業務実績が賃金に反映されにくい、昇格の基準が明確になっていないなど職員がモチベーションを高く持って働くという環境が十分に整っているという状況ではありませんでした。

平成29年度に人事コンサルタントと職員で構成する人事制度設計プロジェクトを中心に新たな人事管理制度を設計しました。

新人事管理制度では、中長期的な人材育成、コンプライアンスのための組織体制の確立等を見据えて、役職や職種で求められる「役割」を基盤として、等級ごとの役割に基づいて業務を遂行する「役割等級制度」、業務実績を評価する「評価制度」、評価を処遇・賃金に反映させる「賃金制度」の3つの制度を基軸に組み立てました。

新人事管理制度は、平成30年4月から平成30年9月をトライアル実施、平成30年10月から本実施する計画であり、業務実績が報われる人事制度を導入することで、職員が業務へのモチベーションを高く保ち、人材育成とサービスの質の向上をさせ、更には利用者の獲得につなげ財政基盤の安定を図っていくものです。

3. 安定した財源確保と健全な財政運営

本会は、社協会費や共同募金配分金、寄付金（善意銀行）等の「自主財源」と補助金・受託金収入等の「公的財源」、介護報酬等の「事業収入」を財源として、地域福祉活動の推進に向けた様々な活動を展開するために、安定した財源の確保が求められています。

(1) 介護サービス事業経営の基盤強化

特定事業所加算の基準を充たす人員配置とするために、平成29年5月に出石ケアプランセンターと但東ケアプランセンターを出石・但東ケアプランセンターに統合しました。事業所としての担当エリアは広範囲となりましたが、引き続き利用者のアセスメントをしっかりと行い、介護サービス事業所やコミュニティワーカー等と連携し、その人らしい豊かな地域生活の維持・継続を支援しました。

日高地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を地域福祉・生活支援拠点ぐるらんで実践するために、近距離に位置する日高中央デイサービスセンターを平成30年3月末で廃止し、その機能をぐるらんへ移行し、日高中央デイサービスセンターの利用者をぐるらんや日高西、日高東デイサービスセンターにつなげることで、各利用者・家族のニーズに沿ったサービス提供と利用者の確保を行いました。

城崎デイサービスセンターについては、一般市民も利用する入浴施設の閉鎖に伴いサービス提供が困難な状況となることから平成30年3月末で廃止し、豊岡港デイサービスセンターへの利用者の移行を図りました。しかし、豊岡地域の事業所を選ばれる方も多く、利用者を十分に確保するには至りませんでした。

本会の収入の大半を占めている介護報酬の安定的な確保に向けて、各事業所が収益確保に向けた具体的な目標（一月あたりの利用者数等）を設定し月次単位で達成状況をチェックするとともに、利用者の生活全般を支える視点を持ってサービスの提供にあたりました。

利用者のニーズに確実に対応できるよう家族、医療機関、組織内等で情報共有・連携をしっかりとって取り組むことで新規利用者の確保、利用回数の増加につながっている事業所があります。

また、ごみ屋敷、ひきこもり等のサービスで対応することが難しい問題はコミュニティワーカーや総合相談センターへつなげるなど課題の早期発見・早期対応に取り組んだり、デイサービスセンターでは地域のコミュニティカフェへの参加や保育園児等との交流を通じて地域に根差した運営に取り組みました。

一方で、介護報酬収入が前年度対比で減少している事業所も見られます。要因としては、他法人のケアマネジャーや関係機関としっかり連携体制ができていないためにニーズに対応できず結果として利用の減少に至ったり、入所型施設に移行する重度要介護利用者の増加等が挙げられます。

今後は、他法人のケアマネジャーへの働きかけの強化、重度要介護利用者への質の高い援助ができるよう新任職員からの育成プログラムを作成するなど、利用者の安定的な確保を進めて行きます。また、個別支援から地域支援つなげられるよう、コミュニティワーカーや地域包括支援センター等と連携を取って、住民の交流の場、話し合いの場等の社会資源情報の共有を進めます。

住民の在宅生活を守りきるセーフティネットの砦の役割を果たすべく、ぐるらんの24時間、365日介護サービスが提供でき、住民の交流拠点、住民と専門職の協働による地域の課題解決に向けた話し合いの場としての拠点機能を軌道に乗せることを重点的に進めて行きます。

（2）善意銀行の重点的な啓発

善意銀行への預託状況が年々減少している要因として、その用途や善意銀行自体を住民にしっかり啓発できていないことが挙げられます。

住民がしっかり関心を持てるような啓発の方法として、地域活動支援センター施設整備助成事業の中で購入される車両に描くラッピングデザインの一般公募を実施しました。

善意銀行のホームページやポスター、市内の各小学校・中学校・高等学校を通じて応募を呼びかけ、868点の作品が応募され、副市長、教育長等で構成される最終選考会で最優秀作品を決定し、そのデザインを地域活動支援センターが購入した車両にラッピングを施しました。

今後、車両が市内を走ることで市民の善意銀行への関心を高めることにつながりますが、住民の善意銀行への関心を更に高め、寄付の増加につなげるために、専用口座への振込等の多様な形式の寄付の開発に取り組む必要があります。

豊岡市社会福祉協議会事業活動

1. 地域福祉活動

1-1 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を送ることができるよう介護予防サービスをはじめ、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行いました。

相談件数 (単位：件)

		介護 相談	総合 事業	介護 予防	介護 給付	入退 所・院	高齢者 福祉	障がい 者福祉	保健・ 医療	権利 擁護	認知症 に関する事	経済	その他	合計
豊岡	H28	683	2,493	3,068	257	359	688	131	802	329	590	405	353	10,158
	H29	761	2,114	3,191	384	259	1,500	95	689	403	521	177	244	10,338
城崎 ・竹野	H28	235	1,080	1,296	105	69	592	49	318	289	122	68	55	4,278
	H29	304	904	1,593	183	116	742	122	364	260	60	94	163	4,905
日高	H28	665	2,116	1,941	277	163	310	102	227	126	197	133	106	6,363
	H29	304	1,896	2,506	328	171	527	86	124	131	142	30	28	6,273
出石 ・但東	H28	741	762	1,231	174	221	604	51	246	110	83	93	293	4,609
	H29	698	1,097	1,454	125	242	520	55	179	57	52	213	234	4,926
合計	H28	2,324	6,451	7,536	813	812	2,194	333	1,593	854	992	699	807	25,408
	H29	2,067	6,011	8,744	1,020	788	3,289	358	1,356	851	775	514	669	26,442

ケアプラン作成件数 (予防給付・総合事業・支え合い・からだ元気塾・委託件数含む)

(単位：件)

	豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
H28年度	5,628	2,106	2,450	2,330	12,514
H29年度	5,948	2,255	2,752	3,094	14,049

1-2 障害者基幹相談支援センター

地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な支援や人材育成、障害者の方の地域課題に対しての取組、豊岡市障害者自立支援協議会の運営等、関係サービス事業所と連携を図りながら総合的な支援に取り組みました。障害者虐待については、早期発見と迅速な対応を行うため通報、届出受理(電話・ファックス、メール等24時間受付)と再発防止の観点から虐待後の支援も行いました。

①計画相談支援

障害福祉サービスを利用する際に必要なサービス計画書の作成や関係機関との連絡調整。

計画相談支援実人数（平成30年3月末現在）（単位：人）

障がい者	障がい児	合計
226	60	286

②一般相談

計画相談には至らないが、何らかの支援を必要とする方への支援。

（平成30年3月現在）（単位：人）

平成28年度末 実人数	平成29年度 新規実人数	合計
213	93	306

一般相談件数（単位：件）

制度 利用	障害・ 病状の 理解	健康 医療	不安 解消	保育 教育	家族・ 人間関 係	家計 経済	生活 技術	就労	社会 参加	その 他	合計
204	35	92	182	7	41	89	26	142	34	72	924

③地域の相談支援事業者に対する訪問等による支援

相談支援 事業所	利用者 実人数	支援方法					計
		支援 会議	電話	来所	同行	その他	
4事業所	21人	5回	31回	7回	81回	3回	127回

④虐待受理実件数（単位：件）

平成28年度	平成29年度
13	4

1-3 総合相談・生活支援センター

様々な生きづらさを抱え、社会的に孤立されている方、経済的に困窮されている方、複合多問題世帯、制度の狭間にある方などを幅広く受け止め相談支援を行いました。

新規相談受付件数 117件

相談件数 (単位：件)

	病気 障害	住まい	収入 生活費	家賃 ローン支払	税金、 公共料金 支払	債務	仕事探し 就職	仕事上の 不安、トラ ブル
H28	66	35	116	37	42	31	62	7
H29	63	21	109	32	48	33	48	8
	地域との 関係	家族関 係 人間関 係	子育て 介護	ひきこもり 不登校	DV 虐待	食べるも のが無 い	その他	合計
H28	7	36	8	6	10	17	8	488
H29	5	28	13	2	4	28	6	448

	平成28年度	平成29年度
自立支援プラン作成件数	27	25
就職へつながった件数	28	31

1-4 日常生活自立支援事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理について、生活支援員や行政、障害者相談支援事業所、福祉施設等の関係機関・団体と連携を図りながら支援を行いました。

基幹的社協としての事業実施地域…豊岡市、香美町、新温泉町

契約数 (平成30年3月末現在) (単位：件)

	豊岡市	香美町	新温泉町	合計
平成28年度	60	20	2	82
平成29年度	66	22	2	90

事業の取組状況 (問い合わせ・相談援助) (単位：件)

	福祉サービス利 用援助事業に関 して	成年後見制度に 関して	その他	合計
平成28年度	3,076	85	1,334	4,495
平成29年度	3,932	54	1,887	5,873

1-5 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯が抱える制度の狭間や複合的な課題に対して、資金の貸し出しだけに止まらず、総合相談センターや関係機関と連携を図りながら、利用者の安定した地域生活の支援を行いました。

資金種類	平成28年度		平成29年度	
	件数(件)	貸付金額(円)	件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金	1	1,022,000	1	140,000
教育支援資金	2	2,080,000	2	4,510,000
総合支援資金	1	150,000	3	1,320,000
緊急小口資金	13	1,207,000	8	690,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	1	50,000

相談件数(単位:件)

平成28年度	平成29年度
301	300

1-6 法外援護資金

低所得者に対して5万円を限度額として(特別な事情がある場合は10万円まで可)法外援護資金を貸し出すことにより、生活の自立を促しました。貸付期間1年以内。

法外援護資金貸付状況

	平成28年度	平成29年度
貸付件数	15件	8件
貸付金額	725,000円	397,000円

1-7 心配ごと相談

誰もが安心して自分らしい生活が送れるよう、住民が抱える家族・福祉・生計・住宅など多岐にわたるさまざまな悩みについて相談に応じ、解決のための助言や各関係機関につなげました。

相談件数(単位:件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
H28年度	55	4	7	12	4	1	83
H29年度	37	9	5	12	6	1	70

1-8 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ない等の理由により結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。平成29年4月、結婚相談員間の情報共有・連携を強化し、出会いの機会、成婚数の増加を図るために結婚相談所を豊岡、日高の2カ所に統合しました。

結婚相談所開設日

豊岡…第1・3金曜日 日高…第2・4水曜日

(単位：件)

	平成28年度	平成29年度		
	全地域	豊岡	日高	合計
相談件数	206	58	31	89
紹介	174	183	138	321
見合い	83	47	40	87
成婚	9	3	0	3
成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)	5	3	0	3

結婚相談所登録者(単位：人)

	地域	全但登録者数		計	豊岡市内限定登録者数		計
		男	女		男	女	
H28年度	全地域	110	26	136	32	18	50
H29年度	豊岡	78	28	106	14	12	26
	日高	50	17	67	21	14	35
	合計	128	45	173	35	26	61

1-9 婚活事業

20歳～40歳の独身男女を対象に、各種イベントの開催により出会い・交流の場を創出するとともに、婚活サポーターや婚活サポート企業、婚活イベント協力委員等の市民や企業・団体の協力を得ることで、男女の結婚に向けた様々な機会を提供することを目的として事業を実施しました。

はーとピーイベント開催状況

開催日	参加者 (人)	実施場所	カップル数
H29.4.15	24	TriANGLE	4
H29.5.21	30	フランス料理レザミ	4
H29.6.1	23	たけなわ	4
H29.6.25	30	ソラウミカフェ	4
H29.7.15	24	Guest house & Bar ひととまる	6
H29.8.27	30	Buona Fortuna Nero	7
H29.9.6	12	DINING BAR 真蔵	3
H29.11.11	20	楽友軒	5
H29.11.26	30	金左衛門	6
H29.12.9	16	ImaC A F E	2
H30.1.20	18	彩鶏	3
H30.2.18	30	ビアドリット豊劇店	8
H30.3.18	24	プティ・パ	4
計	311		60

成婚数 7組

婚活サポート企業 132社

1-10 法律相談

法律の専門家である弁護士が、市民の財産・家族などの身近な法律問題へのアドバイスを行いました。

開設日…毎月第1 火曜日

相談件数 (単位: 件)

平成28年度	平成29年度
86	89

1-1-1 緊急食料支援事業

失業や疾病など様々な理由で食べるできない生活困窮世帯に、緊急的に食料を提供し、自立に向けた支援を行いました。

毎月1日を『フードデイ』と定め、社協広報紙を通じて、企業や市民へ余剰となった食品の提供をお願いし、寄付による食料品を活用した緊急食料支援を行いました。また寄付を呼びかけることを通じて、生活困窮者支援への関心を高め、地域の中で生活困窮者を早期発見できる地域づくりをめざしています。

支援実績 44件

ニーズキャッチ機関（単位：件数）

機関・部署	平成28年度	平成29年度
市社会福祉課	4	6
市健康増進課	2	
市振興局	1	1
社協本所	3	3
社協支所	2	7
地域包括支援センター	1	4
障害者基幹相談支援センター	1	
総合相談・生活支援センター	12	23
合計	26	44

1-1-2 福祉団体活動費助成事業

事業の内容…豊岡市内の福祉団体へ社会参加と交流の場づくり、組織化の支援・促進を目的として共同募金配分金事業より支援を行いました。

助成先	金額（円）
豊岡市老人クラブ連合会	318,000
豊岡市身体障害者福祉協会	312,000
豊岡市手をつなぐ育成会	78,000
豊岡市婦人共励会	186,000
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000
豊岡市遺族会	120,000
豊岡市子ども会連絡協議会	130,440

1-1-3 福祉委員活動の推進

地域（行政区）のアンテナ役として、研修等を通じて困りごとの発見、連絡、人材確保など、地域の福祉課題に応じた活動が行われるよう働きかけました。

□福祉委員委嘱数（平成30年3月末現在）（単位：人）

豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
147	31	42	70	51	52	393

□福祉委員研修会

福祉委員が身近な地域の困りごとや、生活しづらさを感じている住民の立場にたち、地域の課題として考え、解決に向けた活動を促進することを目的に開催しました。

地域	開催日	参加者数（人）	内容
豊岡	H30.3.26	280	講演「生きがいを持って地域で生活するために」 講師：兵庫県社会福祉協議会 福祉支援部長 杉田健治 氏
城崎	H29.11.17	23	○城崎地域の状況と活動について ○桃島町内会の取り組みの紹介 ○グループワーク形式での情報交換
竹野	竹野南支部 H29.6.19	12	○支え合いの地域づくり活動助成事業について ○見守り・支え合い活動について ～誰もが安心して暮らしていくために～ ○「支え合いの地域づくり」 民生委員、民生協力委員、福祉委員の役割について
	H29.9.21	31	
	竹野中支部 H29.6.21	8	
	H29.9.20	16	
	竹野支部 H29.6.23	14	
	H29.9.19	41	
	日高	H29.6.16 H29.9.20	
出石	H29.9.27 H30.3.2	44 41	○支え合いの地域づくり活動について取組の説明、実践発表 ○地区単位別情報交換 ○出石支所、地域包括、介護事業所の取組・活動・事業の説明

但東	但東地域	2 8	○認知症サポーター養成講座
	H2 9 . 9 . 2 1		○資母地区の現状と取組
	資母地区	3 1	「救急医療情報キットの設置結果」
	H2 9 . 7 . 2 1		○災害について考えるつどい
	高橋地区	6 5	「地域でできる災害の備えとは」
	H2 9 . 8 . 6		○コミュニティあいはし生活支援部会
	合橋地区	8	について
H2 9 . 9 . 2 1	○地域の取組について情報交換		
H3 0 . 2 . 2 1	3 0	交流の場、話し合う場、区内の情報 のやりとり	

1 -1 4 子ども福祉委員

子どもたちが自分の住む地域やそこに暮らす人の生活や地域活動に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、地域内の活動に参加するなど、子どもたちの体験活動を展開し、郷土愛の醸成と豊かなまちづくりを進めることを目的として小学校の児童に子ども福祉委員を任命しました。

小学校名	人数(人)	小学校名	人数(人)	小学校名	人数(人)
豊岡	1 2	新田	2 8	竹野	1 8
中竹野	2 6	竹野南	1 4	福住	5
小坂	8	弘道	5	寺坂	7
小野	5	資母	7	合橋	5
高橋	1 1			合計	1 5 1

1 -1 5 住民座談会

住民が地域(行政区)の課題に目を向け、住民自らが考え行動できる地域づくりをすすめるために、困りごとの解決に向け住民ができること、やってみたいことなどを話し合いました。

地域	行政区	実施日	参加者数 (人)	
豊岡	沖加陽	H2 9 . 6 . 3	5	
	百合地	H2 9 . 6 . 7	1 1	
	引野	H2 9 . 6 . 1 0	1 0	
	土渕	H2 9 . 6 . 1 5	7	
	伏	H2 9 . 6 . 2 0	1 1	
	八社宮	H2 9 . 6 . 2 5	1 1	
	駅前		H2 9 . 6 . 2 7	8
			H2 9 . 7 . 2 0	9
桜木		H2 9 . 6 . 2 8	1 1	

	小島	H29.7.18	8
	梶原	H29.7.28	7
	中郷	H29.7.31	10
	九日市上町	H29.8.27	7
	九日市上町	H29.10.29	7
	西花園	H29.11.14	6
	小田井	H29.12.9	8
	九日市下町	H29.12.10	8
	九日市上町	H29.12.17	6
	九日市上町	H30.2.25	12
	栄町	H30.3.24	7
城崎	湯の元	H29.5.23	6
		H29.10.27	7
		H30.1.17	5
	元薬師	H29.6.14	5
		H29.9.28	5
		H30.1.26	5
		H30.3.22	6
	北松ヶ崎	H29.7.6	7
	南松ヶ崎	H29.8.2	3
	元	H29.9.7	3
	上山住宅	H29.12.22	4
二見・簸磯・上山	H29.11.24	9	
桃島	H29.10.30	6	
来日	H30.1.29	5	
	H30.3.12	5	
駅前	H30.2.3	4	
竹野	阿金谷	H29.4.24	9
		H29.5.1	13
	中町	H29.4.27	5
	下町	H29.5.30	7
		H30.2.22	16
	松本	H29.6.24	11
		H29.8.27	47
芦谷	H29.10.6	8	
鬼神谷	H29.12.21	15	
宇日	H30.1.17	7	
日高	藤井	H29.4.29	24
	水上	H29.6.13	15

	小河江	H29.7.9	12
	池上	H29.8.17	10
	太田	H29.8.22	8
	岩中	H29.9.29	31
	浅倉	H29.11.25	19
	山田	H29.11.29	25
	栗山	H29.12.17	11
出石	谷山	H29.7.28	11
	下谷	H29.9.29	11
	暮坂	H29.10.24	12
	日野辺	H29.10.27	20
	材木	H29.11.21	9
	奥山	H29.12.2	11
	川原	H29.12.12	11
	中野	H30.2.16	10
	川原	H30.3.8	10

1-16 支え合いの地域づくり活動助成

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域内の支援を必要とする住民の孤立を防ぐ見守り、支え合い活動を推進することを目的に住民が主体となって実施する活動に対して2万円を上限として活動助成を行いました。

□助成件数

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
110	2	5	12	11	2	142

1-17 ふれあいいいききサロン

地域の中で気軽に参加でき、地域や近隣同士の交流と助け合いや見守り活動をすすめる「ふれあいいいききサロン」の新規立ち上げや安定した運営に向けた支援を行いました。

いきいきサロンの活動助成金として、開設1年目～3年目までのいきいきサロンへ年間5万円、4年目～6年目のいきいきサロンへ年間3万円の運営助成を行いました。

□助成件数

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	合計
サロン数	11	24	12	14	12	13	86

1-18 地域応援事業

世代間交流、地域で支援を必要とする方を支える活動など行政区における先駆的な活動や、障がい者団体や介護者の会などセルフヘルプグループが行う交流、仲間づくりを目的とする活動に3万円を上限として助成を行い、地域における助け合い・支え合い活動の推進を図りました。

助成件数…15件

1-19 子育てサークル

地域の子育てサークルが安定的に活動できるよう、運営の助言や子育て支援ボランティアのマッチング等を行いました。

また、活動助成金として年間2万円を上限として助成を行い、地域全体による子育て・子育て支援活動の推進を図りました。

助成件数…8件

1-20 とよおかこどもまつり

地域住民やボランティアによる食育やささまざまな体験コーナーを通じて、子育て中の親子が楽しく交流を深め、子育て支援の輪を広げる機会としました。

開催日	場所	来場者数(人)
H29.6.10	豊岡市民プラザ	1,150

1-21 福祉まつり

福祉団体、関係機関、ボランティア等がバザー販売、福祉活動の啓発、ステージ発表等を行い、多くの参加者が交流を深めました。

地域	開催日	場所	来場者数(人)
城崎	H29.10.22 台風の影響により中止	城崎健康福祉センター	
竹野	H29.10.15	竹野健康福祉センター及び多目的運動広場	695
日高	H29.10.15	日高文化体育館	1,700
出石	H29.10.22 台風の影響により中止	ひぼこホール	
但東	H29.10.22 台風の影響により中止	但東健康福祉センター	

1-21 ひとり暮らし高齢者のつどい

食事会、ボランティアによる踊り、ゲーム等を通じて相互交流を深めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
城崎	H29.7.25	城崎健康福祉センター	35
竹野	H29.7.11	竹野健康福祉センター	45
日高	H29.6.30	三方コミュニティセンター	16
	H29.7.19	上石公民館	23
	H29.7.20	日高健康福祉センター	40
	H29.11.20	八代コミュニティセンター	8
出石	H29.11.22	出石健康福祉センター	21
但東	H29.11.12	但東健康福祉センター	31
	H29.11.19	資母地区交流センター	43
	H29.11.19	高橋地区コミュニティセンター	40

1-22 障害者(児)なかよしゲーム・スポーツ大会

障がい者当事者、作業所職員、ボランティア等による実行委員会が企画・運営を行い、レクリエーション・スポーツを通じて相互理解と交流を深めました。

開催日	場所	参加者(人)
H29.7.22	豊岡総合体育館	213

1-23 障がい者(児)居場所づくり

障がい者(児)の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生の主体性を引き出しながら、障がい者(児)の居場所として定着化を進めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
豊岡 (北中校区)	H29.7.23	五荘地区コミュニティセンター	11
	H29.9.10		13
	H29.12.3		11
	H30.2.18		11
豊岡 (南中校区)	H29.6.18	三江地区コミュニティセンター	19
	H29.11.26	豊岡健康福祉センター	8
	H30.3.11		10

城崎	H29.6.10	城崎健康福祉センター	14
	H29.9.1		23
	H29.12.2		23
	H30.2.9		21
	H30.3.16		19
日高	H29.6.11	日高健康福祉センター	27
	H29.8.27		22
	H29.11.12		18
	H29.12.10		32
	H30.3.11		25
出石	H29.6.3	出石健康福祉センター	65
	H29.7.10		65
	H29.11.11		61
	H30.3.3		62
但東	H29.6.25	但東健康福祉センター	27
	H29.9.24	創作館ひらた	33
	H29.11.18	但東健康福祉センター	23
	H29.12.17		20
	H30.3.11		23

2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習

2-1 ボランティア登録数（平成30年3月末現在）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
グループ数	36	24	15	19	55	11	160
加入者数	975	265	367	185	541	355	2,688
個人登録者	229	13	10	2	9	81	344

2-2 コーディネート件数

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
ボランティア活動の相談・問い合わせ	314	141	409	251	292	87	1,494
コーディネート件数	435	123	314	251	322	116	1,561

2-3 ボランティア連絡会

ボランティア・市民活動センターに登録している個人ボランティア、ボランティアグループを中心として連絡会を開催してボランティア活動の活性化に向けた情報交換を行い、必要な分野では連携できる活動体制づくりをめざしました。また、ボランティア・市民活動センターと協働してボランティア活動を通じて地域の活性化に取り組みました。

	城崎	日高	出石
開催回数	1	2	6

2-4 児童・生徒のボランティア活動推進事業

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉への理解と関心を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成を行いました。

助成先45校

2-5 ボランティア体験教室

ボランティアグループや関係機関と協働し、福祉を身近な事として学べる機会として、幅広い体験教室を開催し、参加者の福祉・ボランティアへの関わりの第一歩としました。

□内容…車椅子体験、手話学習体験、点字体験、高齢者疑似体験、認知症の勉強等

□延べ参加人数 666人

3. 在宅福祉サービス

3-1 給食サービス事業（食の自立支援事業+自主事業）

ひとり暮らし・高齢者世帯などに、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた弁当を作り、お届けしました。

	城崎	竹野	出石	但東	合計
実施日数(日)	149	143	146	148	586
延利用者(人)	1,530	3,440	1,801	2,925	9,696

3-2 福祉用具貸与事業

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を一時的に貸し出し、自立生活の支援を行いました。

貸与品目…電動ベッド、手動ギャッジベッド、車いす、松葉杖、歩行補助杖、歩行器、シャワーチェア、介護テーブル等

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
貸出件数	89	33	97	87	55	42	403

3-3 家族介護支援事業

在宅の介護者に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、心身のリフレッシュを図るために日帰り旅行や食事会を行いました。

	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数(回)	7	6	6	4	23
延参加者(人)	22	68	21	31	142

3-4 生きがい活動支援通所事業

高齢者の方の閉じこもりの予防として、仲間づくりや交流の場としての役割を果たしました。また、ゲームや頭の体操などの様々なレクリエーションや、作品づくりをする事で介護予防の効果も果たしました。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
開催回数(回)	48	24	21	12	154	6	265
延利用者数(人)	127	251	473	90	1,650	67	2,658

3-5 米寿者祝福事業

87歳を迎える方を対象に米寿のお祝いとして、ボランティアの協力を得て記念撮影を行い、9月の高齢者保健福祉月間に民生委員の協力のもと写真を贈呈しました。対象者642名中、519名の方が写真を受け取られました。

3-6 最高齢者・最高齢夫婦祝福事業

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金（各1万円）を贈呈。

3-7 新100歳祝福事業

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金（各1万円）を33名の方に贈呈。

4. 法人運営

4-1 理事会

回数	開催日	出席理事数	協議事項
1	H29.4.27	12人 監事2人	報告事項2件 第1号議案 豊岡市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 第2号議案 豊岡市社会福祉協議会但東ケアプランセンター運営規程を廃止する規程について 第3号議案 豊岡市社会福祉協議会出石ケアプランセンター運営規程の一部改正について
2	H29.6.8	8人 監事1人	報告事項1件 第4号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第5号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第6号議案 豊岡市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程について 第7号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 第8号議案 豊岡市社会福祉協議会職員6月賞与について
3	H29.6.23	13人 監事2人	報告事項1件 第9号議案 理事長・副理事長の互選について 第10号議案 功労者の表彰について
4	H29.7.20	13人 監事1人	報告事項5件 第11号議案 経理規程の一部改正について 第12号議案 平成29年度共同募金(平成30年度事業費)「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会充当計画について
5	H29.8.24	10人 監事2人	報告事項4件 第13号議案 非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第14号議案 会員規程等の一部改正について
6	H29.11.24	12人 監事1人	報告事項7件 第15号議案 評議員の解任について 第16号議案 評議員の推薦について 第17号議案 豊岡市社会福祉協議会職員12月賞

			<p>与について</p> <p>第18号議案 育児・介護休業に関する規則の一部改正について</p> <p>第19号議案 平成29年度歳末たすけあい運動配分について</p>
7	H29.12.21	11人 監事2人	<p>報告事項3件</p> <p>第20号議案 豊岡市社会福祉協議会地域福祉・生活支援拠点ぐるらん運営規程の制定について</p> <p>第21号議案 豊岡市社会福祉協議会日高西デイサービスセンター運営規程等の一部改正について</p> <p>第22号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について</p> <p>第23号議案 平成29年度第2回評議員会の開催について</p>
8	H30.2.22	9人 監事2人	<p>報告事項9件</p> <p>第24号議案 豊岡ケアプランセンター運営規程(指定特定相談支援事業)等の制定について</p> <p>第25号議案 公印規程の一部改正について</p>
9	H30.3.15	11人 監事2人	<p>報告事項4件</p> <p>第26号議案 平成30年度組織体制について</p> <p>第27号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算について</p> <p>第28号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会事業計画について</p> <p>第29号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算について</p> <p>第30号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について</p> <p>第31号議案 豊岡市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について</p> <p>第32号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員就業規則の一部改正について</p> <p>第33号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>第34号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について</p> <p>第35号議案 豊岡市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について</p> <p>第36号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について</p>

			<p>第37号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員給与規程の一部改正について</p> <p>第38号議案 豊岡市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について</p> <p>第39号議案 豊岡市社会福祉協議会職員職名規程の一部改正について</p> <p>第40号議案 豊岡市社会福祉協議会福祉委員・推進委員設置規程の一部改正について</p> <p>第41号議案 平成29年度第3回評議員会の開催について</p>
--	--	--	---

4-2 評議員会

回数	開催日	出席評議員数	協議事項
1	H29.6.23	16人	<p>第1号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について</p> <p>第2号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会決算について</p> <p>第3号議案 第7期役員の選任について</p> <p>第4号議案 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程について</p> <p>第5号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について</p>
2	H29.12.26	18人	<p>報告事項4件</p> <p>第6号議案 平成29年度第1次資金収支補正予算について</p>
3	H30.3.23	13人	<p>報告事項1件</p> <p>第7号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について</p> <p>第8号議案 平成29年度豊岡市社会福祉協議会第2次資金収支補正予算について</p> <p>第9号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会事業計画について</p> <p>第10号議案 平成30年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算について</p>

4-3 正副理事長会議

開催回数…12回

4-4 善意銀行

	預託件数	金額
平成28年度	316件	12,976,773円
平成29年度	268件	10,980,217円
比較	△48件	△1,996,556円

4-5 社協会費

一般会費（一世帯年額1,200円）

年度	世帯数	会費納入額	納入世帯数	前年度対比
平成28年度	32,869世帯	28,818,980円	24,010世帯	143,600円
平成29年度	33,043世帯	28,752,080円	23,962世帯	△66,900円

賛助・施設会費（年額2,000円以上）

年度	賛助会費		施設会費		一般会費との 合計金額	前年度対比
	件数	金額	件数	金額		
平成28年度	728	3,178,800円	30	118,000円	31,972,180円	49,460円
平成29年度	604	2,676,000円	25	87,000円	31,515,080円	△457,100円

5. 介護保険・障害者サービス

5-1 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。平成29年5月、運営基準上の人員を確保するために、出石ケアプランセンターと但東ケアプランセンターを「出石・但東ケアプランセンター」に統合しました。

延利用者数（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	比較
豊岡	1,313	1,611	298
豊岡北	1,997	1,969	△28
日高	2,650	2,461	△189
出石	1,490	2,553	△205
但東	1,268		
合計	8,718	8,594	△124

5-2 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

延利用者数（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	比較
豊岡	13,858	14,392	534
城崎	4,763	4,718	△45
竹野	8,179	7,117	△1,062
日高	17,310	18,429	1,119
日高西	12,080	10,371	△1,709
出石	13,963	14,215	252
但東	10,994	10,957	△37
合計	81,147	80,199	△948

5-3 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

延利用者数（単位：人）

平成28年度			平成29年度			比較		
介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
1,286	209	1,495	1,171	211	1,382	△115	2	△113

5-4 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

延利用者数（単位：人）

	平成28年度			平成29年度			比較		
	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計	介護	障がい	合計
豊岡港	5,478	73	5,551	5,812	24	5,836	334	△49	285
豊岡西	5,186	304	5,490	5,350	307	5,657	164	3	167
城崎	2,719	0	2,719	1,917	0	1,917	△802	0	△802
竹野	6,356	50	6,406	6,508	79	6,587	152	29	181
竹野南	2,600	0	2,600	2,263	0	2,263	△337	0	△337
日高中央	5,005	61	5,066	4,988	73	5,061	△17	12	△5
日高西	6,255	0	6,255	6,820	0	6,820	565	0	565
日高東	6,094	0	6,094	5,995	2	5,997	△99	2	△97
日高八代	2,075	0	2,075	1,835	0	1,835	△240	0	△240
但東	5,783	0	5,783	6,017	0	6,017	234	0	234
合計	47,551	488	48,039	47,505	485	47,990	△46	△3	△49

5-5 障害者サービス事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある身体障がい、知的障がい、精神障がいをもつ利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や移動介助を提供しました。

居宅介護 延利用者数（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	対前年度比較
豊岡	1,569	1,654	85
城崎	309	473	164
竹野	501	579	78
日高	871	855	△16

日高西	337	418	81
出石	807	589	△218
但東	1,128	1,278	150
合計	5,522	5,846	324

同行援護 延利用者数（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	対前年度比較
豊岡	85	79	△6
城崎	432	430	△2
竹野	0	0	0
日高	29	37	8
日高西	0	0	0
出石	136	184	48
但東	0	0	0
合計	682	730	48

移動支援 延利用者数（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	対前年度比較
豊岡	56	54	△2
城崎	52	17	△35
竹野	39	43	4
日高	0	4	4
日高西	1	0	△1
出石	32	39	7
但東	9	0	△9
合計	189	157	△32

5-6 産前・産後サポーター派遣事業

豊岡市より事業を受託し、平成29年10月から事業を開始。妊娠、出産及び子育てに関する悩みや不安を抱える方や、家族等から産後の支援を受けられない方に、家事援助及び相談を行い、身体の負担の軽減と心身の安定を図り、安心して子育てができるように援助を行いました。

延利用者数（単位：人）

豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
178	0	0	0	0	0	2	180